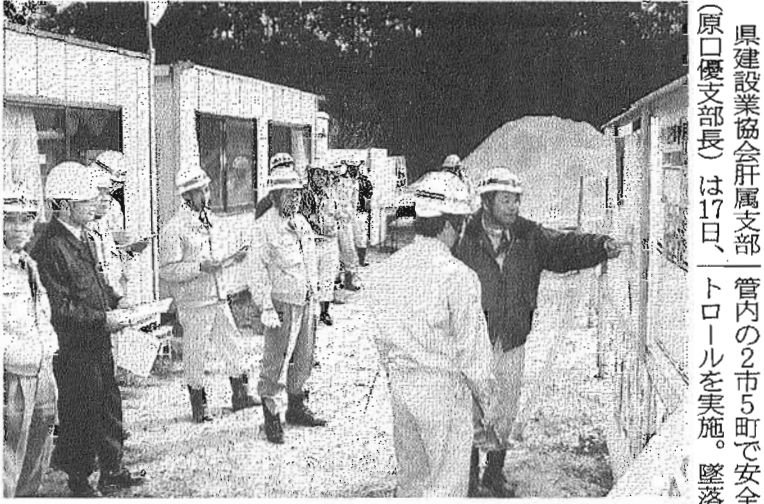


県建設業協会肝属支部パト

労災防止の強化を

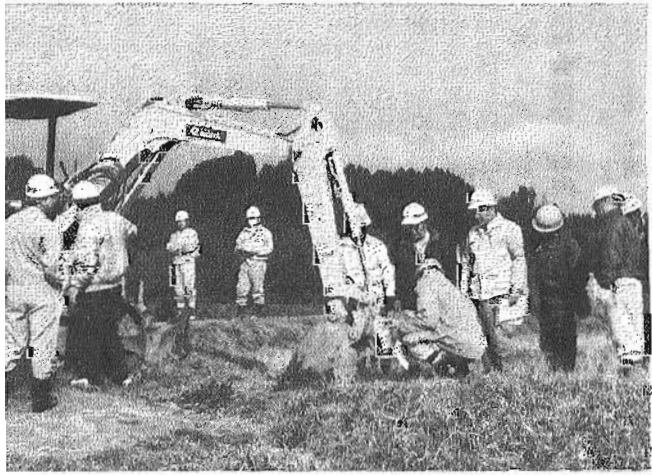


現場監督の説明を受ける診断員＝鹿屋市の現場で

どの5現場を診断した。この中で鹿屋土木発注の県単道路整備の現場では、電柱移設での工期が延長されることのあるとの指摘もなされ、各関係機関の迅速な対応が要望された。

県建設業協会宮之城支部パト

よりよい現場へ改善策



重機の安全状況を診断する診断員＝宮之城町の現場で

安全でよりよい現場への改善策などを助言してほしい」と挨拶。このあと、1班から3班に分かれバスに乗り込み各診断箇所に向かい、10現場を細かくチェックした。

このうち、1班は宮之城町内の過疎基幹農道整備事業新設原地区(橋口建設(株)施工)、急傾斜地崩壊対策ウッドタウン工区(株)末吉土木施工、通常砂防大平川1工区(株)田建設施工、県単独農業農村整備事業浅井地区15の1(立和名工業(株)施工)の4現場をパトロール。重点事項である墜落・転落防止、土砂崩壊防止の措置がなされているか、また重機運転者の有資格者を選任しているか、安全施工サイクル運動を実施しているか、など点検表に基づき入念にチェック、診断結果を各現場担当者に伝え指導法(シックハウス対策が施行され、ホルムアルデヒドに関する建材、換気設備の規制も始まり、住宅建設を取り巻く環境はますます変化している。これを踏まえ、同審議会では、高性能で生産性が高いツーバイフォー住宅のデザインはどのようなものなのか、構造部材の構成方法や考え方の基本レベルから学ぶセミナーを開くもので、具体的なプランニングも解説する。問い合わせ先は、カナダ林産業審議会・SPFプログラム(☎03・5401・0533)。

昨年7月に改正建築基準法(シックハウス対策が施行され、ホルムアルデヒドに関する建材、換気設備の規制も始まり、住宅建設を取り巻く環境はますます変化している。これを踏まえ、同審議会では、高性能で生産性が高いツーバイフォー住宅のデザインはどのようなものなのか、構造部材の構成方法や考え方の基本レベルから学ぶセミナーを開くもので、具体的なプランニングも解説する。問い合わせ先は、カナダ林産業審議会・SPFプログラム(☎03・5401・0533)。

国内初P-WOOD工場竣工

鹿大丸建設等に感謝状

北さつま事業協組 したのに伴い地域の林業行政関係者ら約200人を招待して竣工式を開いた。工場稼働式では、田原理事長、寺師健次郎林務水産部長、工事を担当した原田堅吉鹿大丸建設(株)会長らがテープカットした。

ピーウッド(P-WOOD)は中空乾燥材のこと、含水率が10%以下に抑えられ、乾燥による歪みや伸縮が小さいことから木造住宅技術の新たな提案として全国的に注目されている。

田原理事長は「この施設は地域の振興と活性化に大いに役立つことになると信じて」と力強く挨拶した。



北さつま事業協組 ピーウッド祁答院森の工場竣工



竣工を祝いテープカットする関係者(上)と施設は地域振興に寄与する――と挨拶する田原理事長＝祁答院町の同工場

完成した施設は、敷地面積約3万6500平方メートル。プレカット施設(S造平屋建て約6500平方メートル)や管理棟(木造平屋建て約400平方メートル)など最新の設備を装備した。中空乾燥材専用工場として全国初の施設になる。第1期は約11億4000万円を投入、グレイディング、センターホール加工機、乾燥機等の最新設備を装備した。年間240棟を見込む。

すでに東京、大阪方面からの引き合いもある。16年度には製材工場(S造平屋、約1400㎡)建設の計画もある。

県、鹿児島市 都市計画見直し公聴会



市民らの意見を聞いた公聴会＝鹿児島市のかごしま市民福祉プラザで

鹿児島市は、このほど鹿児島市のかごしま市民福祉プラザで、線引きなど活発意見を出すなど、都市計画の見直しを公聴会を開催した。公聴会では、県、鹿児島市、鹿児島市のかごしま市民福祉プラザで、線引きなど活発意見を出すなど、都市計画の見直しを公聴会を開催した。

線引きなどで活発意見

民らがそれぞれ公述。この中で線引き(区域区分)定期見直しについて公述人からは、概ね整合性が図れているとした上で、「今後の編入を見越して市街地の隣接地を開発する地権者などが現れる可能性があるので、現状で判断するのはおかしいのでは。その土地がどういった経緯で開発されたのかを十分にチェックしたうえで判断し、法律の抜け道を認めない厳然たる基準を設けてほしい」「それぞれの地域の特性を踏まえながら開発すべき」「調整区域を減らし、市街地を増やすべきでは」といった意見が出た。